

中川 亜紀治（鹿児島大学）

福岡市科学館にて 2026 年 8 月 22 日 (土) 10 時から「宇宙を学べる大学 2026 in 九州」が開催されました。お昼休みをはさみ 16 時に終了しました。鹿児島大学からも理学部や物理宇宙プログラムにおける天文学研究の紹介を行うために参加してきました。私自身は、この催しへの参加は今回で二回目となります。

この催しでは、九州を中心とした大学の天文および宇宙物理研究者が、それぞれの大学の教育内容や研究の特色を紹介します。中高生に限らず、一般市民に対しても大学で宇宙を学ぶ魅力を体感していただくとともに、最先端の宇宙科学研究に触れる機会を提供しています。プログラムは 10 件の講演とその合間のブース巡回時間で構成されます。各大学のブースでは進路相談にも対応します。2026 年度の参加大学 (学部) は次の通りでした。

愛媛大学 (理), 大分大学 (理工),
鹿児島大学 (理), 九州工業大学 (工),
九州大学 (工), 九州大学 (理),
第一工科大学 (工), 福岡教育大学 (教),
山口大学 (理), 福岡大学 (理)

鹿大ブースへの来訪は 8 組で、中学生と高校生がほぼ同数です。中には大学の学部 3 年生から大学院進学に関する質問もありました。中高生からの質問は次のようなものでした。

「勉強が得意じゃないけど宇宙が好きです。大丈夫ですか？」「宇宙学習を重視した高校を選んだ方が有利ですか？」「どういう仕事に就けますか？」「鹿児島大学の物理宇宙プログラムに興味があります」「理学部先取り履修科目について詳しく教えてください」「ブラックホールに興味があります」などなど。質問の意図を詳しく聞きながら答えましたが、彼ら・彼女らの疑問の解決や高校や大学への進路選択に対して、少しでも参考になることを願います。

実は、昨年の同じ催し (2025 年 11 月 15 日 (土)) に参加した後、世話人の方々とプログラム改善について意見交換を行いました。その結果、今年度は参加者が大学ブースを巡回できる時間を十分に確保することができ、前述のような多くの質問を受けることに繋がりました。（おわり）



写真：鹿児島大学のブース。多くの研究テーマを掲示し、参加者の関心を集めました。